

地場産業「お茶づくり」の学習を地域とともに！

3年

- ・茶つみ体験・手もみ体験
- ・文化祭でのお茶の学習
- ・学習園の茶の世話
- ・昔の生活の聞き取り

1・2年

生活科の学習(地区探検などを通して地域社会や自然、環境について学ぶ。)

4年

社会科の学習(地域社会や自然、環境、先人の働きなどについて学ぶ。)

5年

- ・インストラクターによるお茶の入れ方学習
- ・製茶工場の見学
- ・茶の生産、販売、流通などの調べ学習

6年

- ・地域の歴史や文化、産業についての調べ学習
- ・茶道教室

○学習園の茶畑が生長したころには茶の栽培や生産に関する一連の作業を体験

学習のねらい

地域社会の様々な様子について体験を通して理解する。
地域住民との触れ合いやつながりを深める。

地域社会との関連

お茶づくりの理解と振興
製茶業の発展向上
地域の振興と発展

地域とともに その7

5年生は総合的な学習の時間にお茶に関する学習を取り入れて年間通してさまざまな調べ学習や見学を進めていくことになりました。その手始めとして地元で日本茶のインストラクターとしてご活躍の矢田さんに学校へお越しいただき、お茶のお話とお茶の入れ方教室を実施していただきました。沸騰したお湯と適温に冷ましたお湯とでお茶を出して味の違いを体験しました。実施日6月22日



5年 お茶の学習



矢田宗久さん(茶屋町)
農業・日本茶インストラクター



5年 茶工場見学

地域とともに その8



伴 浩人さん(水沢野田町)
農業・さらら委員長・元PTA会長

今年のお茶に関する学習の第2弾として製茶工場の見学を行いました。見学日は6月30日で野田共同製茶組合の工場を訪ねました。二番茶の始まりの最も多忙な時期でしたが伴さんにお世話になり生茶の搬入の様子から製茶工程の流れをていねいに説明していただきました。見学したことや学んだことをもとに次の調べ学習へとつなげていく計画をしています。